

研究機関：広島大学

研究課題名	広範囲腱板断裂に対する鏡視下腱板修復術に筋前進術を併用した際の術後成績の調査
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
研究期間	2021年8月10日(倫理委員会承認後)～2022年12月31日
対象者	2011年10月から2020年9月の間に、広島大学病院整形外科で広範囲肩腱板断裂の病名で筋前進術を併用した鏡視下腱板修復術による治療を受けられた患者さん。 除外)臨床成績の評価が不十分なもの、術後MRIによる再断裂の評価ができていないものなど
意義・目的	肩腱板断裂の術式としては鏡視下腱板修復術(ARCR)が主流となっていますが、断裂サイズが大きい広範囲腱板断裂(mRCT)に対するARCRの再断裂率は高く、治療に難渋することがしばしばあります。そこで、再断裂リスクを低下させる工夫として、我々はmRCTに筋前進術(MA)を併用したARCRを行ってきました。本研究はその術後成績を調査するものです。本術式は筋腱移行術や大腿筋膜移植などの術式とは違い、正常組織を犠牲にする必要がなく、独創的で非常に有意義なものである。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、レントゲンやMRIといった画像所見、術前後の可動域や筋力といった測定数値です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5233 広島大学病院整形外科 職名 大学院生 住元 康彦